

活動名 吉島地域の町職人と留学生が連携した 「小学生のための物づくり体験」	団体名	よしじま職人工房
	地域	広島県広島市
	代表者	代表 安田 茂
	支援金額	25万円
活動概要		
<p>ほしいものが苦勞せずに安価に手に入る現在、大人も子供も物を作りだす力がどんどん弱くなっております。</p> <p>吉島地域には色々な製造業者があり、そこに従事されている匠や、これまで従事したものの現在は老後を楽しんでおられる匠が多くおられます。</p> <p>その町職人と小学生とが連携し、通常、小学校では出来ない「ものづくり」を楽しく体験したり、科学に触れたりすることにより、小学生が創造性、自主性、協調性を培い、ひいては理科好きになること、更に留学生との連携により物づくりを通して外国の文化に触れることにより、将来、国際感覚を身に付けた「ものづくり広島」を担う人材づくりを支援する活動です。</p> <p>◆実施時期 2011.6.11～2011.10.9 吉島公民館他</p> <p>◆参加人数 主な参加者 ・吉島小学校、吉島東小学校、中島小学校ほか生徒 ・中原表具工芸社、三村松、(財)広島市平和文化センター広島市留学生会館留学生 参加総人員 301名</p>		



マイ箸づくりでは、箸削りの前に、プロから工具の説明を受ける



工具を使って楽器(カリンバ)を組み立てる



自分たちで大豆から作った豆腐を試食！



製作を通じてスリランカの留学生と交流

◆実施に伴う効果

地域社会に与えた影響

- ①協力各企業は前回と同じ企業になってしまった。その理由として、子供達が作って喜ぶものを第一に考えて見たところ、その物にマッチした企業が無かったので、スタッフが試行錯誤して試作品を作り、指導者にもなったのが実情です。今後はもう少し企業めぐりなどして、何が作れるか検討していきたいと思っています。
- ②地元の社会福祉協議会や町内会から工房の存在を知って頂き、お年寄りにマイ箸づくりをしてほしいとか、小学校で教えてほしいなどの要望があるなど、地域に少しながらも密着してきたように感じている。

子どもたちに与えた影響

- ①昨年に比べ、本当にものづくりが好きで真面目に取り組む子供達が参加してくれて、スタッフもやりがいがあった。
- ②どのプログラムでも大変喜んでくれたことから、ものづくりを担う子供達の育成に多少なりとも貢献できたものと思っています。

◆苦勞した点

子供達が喜んで楽しくものづくりをするテーマ

22年度で失敗したのは、一部大人の感覚でものづくりのプログラムを作ったことから、参加者が少なかった、喜んで作っていなかったことがあり、その失敗を反省し、子供達が喜んで楽しくものづくり出来るものに拘りました。具体的には、完成した後、持ち帰って、「家族に誇れるもの」、「遊べるもの」、「常に使えるもの」、「食べることのできるもの」にすると、とても喜んで作っている姿を見ることができました。今回の、箸、カリンバ、豆腐、アクセサリー、紙飛行機はいずれも該当するものでした。今後も喜ぶものを探しながら活動を広めていきたいと思っています。

地元企業との連携

地元企業は多種多様にあるものの、子供達が喜ぶものと一致する企業が少ないことが分かりました。よって、今回はスタッフがそのつくり方を勉強し試作して、指導したものが多くなりました。

スタッフの参加

スタッフのメンバーの殆どが仕事を持っていることから、多く集まる日と2人しかいなかった日とあり、スタッフの増員や充実が課題となっています。

留学生の参加

留学生会館と連携し、2回留学生と外国の文化に触れる機会があり、子供達は喜んでいました。しかし、当初考えていた留学生に祖国のおもちゃや楽器のつくり方や遊び方を指導してもらう予定でしたが、日本の学生と同じように、コンピューターゲームは出来ても、ものづくりも遊び方も出来ない実態を知りました。そうしたことから、スタッフがインターネットなどから形を見て、試行錯誤してカリンバを作ったのが実情です。

◆今後の課題・発展の方向性

今後の方向性

少しずつ吉島地域にも認められ、活動がやっと根付いてきたところです。今後、地元企業・学校・公民館・留学生会館などと更に関係を密にして、活動の継続と発展を期したいと考えております。

課題

事業を継続するためには、スタッフにとって地域貢献している実感と喜びを受けることの出来るように、報道関係へのPR、ホームページや活動冊子でのPRをしていく必要があると考えています。また、今後は活動資金を如何にするかも大きな課題です。

◆活動を終えての感想・意見等

この活動は、財団法人マツダ財団様のご支援を頂いたから出来たものであり、厚く御礼申し上げます。また、関係各企業の協力を得ながら、事故もなく予定のスケジュールをこなせたことを感謝いたします。